

結

ゆい

ロシアによるウクライナ侵略戦争が継続する今、ハマスによるイスラエルへの「反撃」に対してイスラエルの大規模な報復を招き、地震の連動のようである。2008年4月17日、私たちが力を絞ったイラク訴訟で米軍の兵士、武器を自衛隊機でバクダッドへ空輸したことは武力行使と一体化であると名古屋高裁は違憲判決を出した。実は同じ年の8月にはロシアがグルジアを侵略し、イスラエルによる第一次ガザ攻撃が12月27日空爆で始まっていて、2012年に第二次ガザ攻撃、ロシアのクリミア併合の2014年には第三次ガザ攻撃があったのだった。イラクへのアメリカの侵略戦争は2001年9月11日の貿易センタービル崩壊をアルカイダの航空機テロという口実でアフガン攻撃に始まったが、真相は不明。私は1993年のイスラエルとパレスチナ解放機構によるオスロ合意後にできたパレスチナ自治政府に期待したが、ラビン暗殺などを経た今日の事態は、1948年イスラエル建国以来、パレスチナへの侵略・植民が絶え間なく続き、パレスチナ人にとって忍耐にも限界があることを「反撃」で示したことである。ナチから逃れたユダヤ人にビザを発給して救った杉原千畝さんが生きていたら、「あなたたちユダヤ人は長い迫害に復讐を続け、今ではナチ同様ではないか」と問うかも知れない。

(2024年4月23日 木村直樹)

2024年5月10日 発行：ユニオンと連帯する市民の会

第36号

写真上

左 中村一三氏

右 浅野文秀氏



写真下

左 小林 収氏

中 鶴丸周一郎氏

右 元座 毅氏



2024.3.29 ユニオン懇談会
市民活動推進センターにて

日本労働組合運動の今 — 私の視点から ----- 元座 毅

いま、なぜ、関東大震災、朝鮮人・中国人大虐殺100年か、

「国家と民衆犯罪の共犯関係」を考える(2) ----- 小野 政美

『親権』という言葉の魔法 ----- たかだ洋子

第17回総会報告・新役員体制 ----- 運営委員会

名古屋ふれあいユニオン定期大会 ----- 浅野 文秀

2024年春闘から見えるこの国の姿 ----- 柿山 朗

反イスラエル アメリカ学生の闘い ----- ネットから

メーデーに思う ----- 木村 直樹

多様な性を受け入れてもジェンダー平等はやってこないと思う訳 ----- たかだ洋子

日本労働組合運動の今 — 私の視点から

愛知連帯ユニオン 元座毅

1. 死活的に重要な労働組合運動

労働組合運動は死活的に重要な社会運動だと思っています。排他的な意味ではありません。200万人が殺されそうなこと（ガザ）より、81人が逮捕されたこと（関生事件）の方が重大だ等と言うつもりはありません。様々な運動はそれぞれ大切な意味があるし、全て繋がっていると考えています。

その上で、現在人間の約半数は労働者であり、労働者は眠る時間を除くと半分以上の時間に業務に服しています。熊沢誠先生がよく日本の民主主義運動における産業民主主義の不在を指摘していますが、職場では闘う力のある労働組合がなければ人権も言論の自由も、へったくれもないのが実際です。仕事から解放された時だけの権利では意味がない、そう考えると逆説的に労働組合運動の死活的な重要さが理解できると思うのです。

2. 様々な労働運動の位相

労働組合と言っても様々な位相があります。時間軸で考えても日本の戦後の労働運動の高揚期と現在の組合では全然違うし、形態で考えても大規模な企業内組合・公労協と地域のユニオンでは様相はだいぶ違います。

1945年の敗戦後労働運動の急成長の時期は、当初、GHQが労組の組織化を奨励し、産別会議主導の高揚がありました。朝鮮戦争前に組織率は50数パーセント（600万人）で組織率のピークを迎えています。元東京東部労組の石川源嗣さんはこの時、中小企業の組織化は取り残されたと指摘しています。

レッドパージを経て朝鮮戦争後、日本は高度経済成長期を迎え、総評のニワトリからアヒルへの転換後、組織数は1975年スト権スト前の1200万人がピークでプラトーを迎え、1989年総評解散から下降をたどり、現在は約1000万人、約16%の過去最低の組織率という低迷期を迎えています。

大企業や公務員を主力とした総評労働運動ですが、歴史的にはエリート労働者を組織した運動ではなかったと思います。厳密なデータは知りませんが、大企業正社員と中小企業（労働者の約70%、労組の組織率は1%）や非正規の格差は1990年頃から格段に拡大しているのではないのでしょうか？

3. 地域ユニオン運動の経緯と現在

日本の労働者の70%をなす中小企業労働者の組織化については、1955年に総評全国一般が結成されています。総評が「野武士のように強固な100人の専従を雇用し、全国に配置した」と聞いたことがあります。また、労働相談は総評時代には主に地区労が行っていたようです。

しかし、1990年代以降、未組織労働者の労組への結集ルートとしては労働相談が中心となっていき、全国ユニオンネット結成が結成されて各地に地域ユニオンができていきます。1993年には東京管理職ユニオンが結成されています。そういう意味では、地域ユニオンは歴史的に普遍的な組織形態ではなかったし、ないと思っています。

労働組合の財政について書くと、1人の専従を確保するには300人の組合員の組合費が必要だ等と言われることがあります。他

方、地域のユニオンで1人の専従が対応できる組合員は100人が限界だとも言われています。実際に地域のユニオンは個別紛争の解決金が重要な財政となっており、全国一般時代の拠点等が背景にあって、献身的で強靱な活動家が専従として中心にいるという構図が多数です。しかし、このような活動家はある年齢以下の世代にはほとんど少なくなり、重大な転機を迎えています。私たちも組合員が自ら闘うスタイルへの転換を模索しています。他方、60歳以上の労働者人口は1000万人に迫りつつあります。シニア労働者の労働問題も重要なテーマになっています。

4. 関西生コン弾圧が投げかけている問題 — 憲法的権利の危機

2018年以来、延べ81人が逮捕され71人が起訴された関西生コン支部弾圧は労働組合のストライキが威力業務妨害、違法行為摘発が恐喝、要求が強要とされました。裁判では延べ12人に無罪判決が出る一方、湯川委員長に実刑4年（控訴保釈中）等不当判決も多数でています。また、ストが有罪になったことで、大阪府労委で救済命令が出ていた逮捕者の不当解雇や労働者供給事業の打ち切りを中央労働委員会が相次いで救済を棄却、他方、経営者団体（大阪広域生コン協同組合）が各企業に組合員排除を要請するなど、弾圧後の反動も続いています。このような攻撃はひとり関生支部の問題に留まらず、労働組合の情宣や行動に対して警察を呼ぶ、経営者がSLAPP訴訟仕掛けることが増加しています。また、司法判断や行政機関において、労働者の権利に対し経営権が優先されるという傾向がますます強まっています。

戦後憲法的な権利が急速に危機に瀕しています。多くの方が労働組合運動・地域ユニオンを支援して下さいますようお願いいたします。

以上

働き方や地域の暮らし、アジアの連帯を学び合う

第104回ユニオン学校

開催～

みんなでつくるユニオン学校、どなたでも参加できます。運営に力を貸してください。

中東戦争にどう向き合うか


—民間船員の経験から—

お話 **柿山 朗** さん
(元全日本海員組合)

日時：2024年5月30日(木) 18時30分～
場所：市民活動推進センター集会室
(名古屋市中区栄3丁目18番1号 ナディアパークデザインセンタービル6階) ※地図裏面


主催：ユニオンと連帯する市民の会
連絡先：080-3543-9205(松本) 090-9936-8202(木村)

会場カンパ 500円ほど



イラン・イラク戦争は、1980年から1988年
続行された戦争。国連安全保障理事会の決議を受け入
れる形で停戦を迎えた。

各国の民間船舶390隻が被弾、船員の死者が31
0名(うち日本人が2名)。1990年にイラクのクウェート侵攻に端を
発した湾岸戦争が勃発。日本は掃海艇の派遣により戦
後初の海外派兵へと踏み出す。今、イスラエルに
よるガザ攻撃が止まない。「戦争とは紛れもない人
間の殺し合い」であることを思い知る。船員とし
て何故戦争に反対するのか振り返る。



第104回ユニオン学校のお知らせ

中東戦争にどう向き合うか

—民間船員の経験から—

お話：**柿山 朗** さん

(元全日本海員組合)

日時：2024年5月30日(木) 18時30分～

場所：市民活動推進センター集会室

(名古屋市中区栄3丁目18番1号ナディア
パークデザインセンタービル6階)

主催：ユニオンと連帯する市民の会

連絡先：080-3543-9205(松本)

090-9936-8202(木村)

いま、なぜ、関東大震災、朝鮮人・中国人大虐殺100年か、「国家と民衆犯罪の共犯関係」を考える（2）

小野政美

前34号より続き

3. 関東大震災、朝鮮人・中国人虐殺から100年。9月1日、朝鮮人虐殺犠牲者追悼の集会を開催

(1) 関東大震災、朝鮮人・中国人虐殺から100年。「朝鮮人虐殺犠牲者追悼と責任追及の集会」開催

「朝鮮人虐殺犠牲者追悼と責任追及の集会」には、韓国から100名参加した。集会で、おかあさんが虐殺を目撃したという在日の尹峰雪（ユンボンソル）さんが、「母は15歳の時被災しました。妹と長屋にいましたが、そこに鎌やとび口を持った自警団の男たちが踏み込んできました。『朝鮮人は皆殺しだ』と言って襟首をつかみ連れて行こうとしました。日本人の大家さんが『この子たちは何もしていない。ずっと一緒にいたので保証する』と言って身体を張って助けてくれたそうです。安否を心配して訪ねてきたおじさんが、近所の飯場の朝鮮人労働者が連れていかれたことで『話せばわかる』と大井の警察署に出かけて行き、殺されて生首を晒されたそうです。集会の最後に、日本政府に対する要請文が採択された。①日本政府は、関東大震災時の朝鮮人虐殺犠牲者に対して、その責任を認め謝罪すること、②日本政府は、関東大震災時の朝鮮人虐殺の根本的原因が朝鮮半島の植民地支配にあったことを認め、確固たる姿勢をもってその清算を行うこと、③日本政府は、関東大震災時の朝鮮人虐殺に関して、その実態を明らかにすること、④日本政府は、上記(3)の目的を果たすために、政府内に止まらず公的機関に存在する関係書類の調査を行うこと、⑤日本政府は、上記①の目的を

果たすために、これまで聞き取り調査を行った市民及び研究者を入れて、真相究明のためのプロジェクトチームを立ち上げる。日本政府の責任を果たさせることが私たち日本市民の責任である。9月1日には、「関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑」の前で、午前には日本の市民が主体となった朝鮮人犠牲者追悼式典が、午後には在日朝鮮人主体の同胞追悼会が開かれた。慰霊堂では都主催の法要が行われ、関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑の前では、午前には日本の市民が主体となった朝鮮人犠牲者追悼式典が、午後には在日朝鮮人主体の同胞追悼会が行なわれた。

(2) 多くの朝鮮人虐殺の荒川の木根川橋の下で「関東大震災100年 韓国・朝鮮人犠牲者追悼式」

1923年9月から100年、2023年9月2日、東京都墨田区にある荒川の、日本の市民団体「百年」に所属する若者たちが、関東大震災当時朝鮮人虐殺を目撃した日本人らの証言を朗読した。午後2時30分、東京の町外れに当たる墨田区、荒川に架かる木根川橋の下の草地に用意されたステージに、20代・30代の日本の若者16人が立った。マイクを前に置き、関東大震災当時の朝鮮人虐殺を目撃した日本人らの証言を朗読した。「両親と子どもが一緒に並んで座っていたが、刀で刺されて死んだ。見るに忍びなかった」（埼玉県の元巡査、アライ・ケンジロウ）のような目撃談を読み上げる若者たちの声は、時には震えることもあった。「女を殺した」（東京都江東区の亀戸警察署で働いていた羅丸山〈ナ・ファンサン〉の証言）という証言の朗読では、600人の参加者の間から嘆息が漏れた。

(3) 今年も、ヘイト団体「そよ風」の「慰

霊の公園」使用、ヘイトスピーチ

関東大震災、朝鮮人虐殺から100年の9月1日に、差別主義団体「そよ風」が、「朝鮮人犠牲者追悼碑」の近くで「慰霊祭」と称する集会を行った。差別ヘイト団体「そよ風」は、「関東大震災時、朝鮮人は実際に放火略奪を行ったのであり、朝鮮人に対する暴力は正当防衛だった」と主張してきた。東京・横網町公園で毎年9月1日、朝鮮人犠牲者追悼碑の前で、朝鮮人犠牲者追悼式典が開かれている。歴代の都知事がこれに追悼文を送ってきた。2017年以降、小池百合子知事がそれを取り止めている。小池都知事の動向と関連して、差別ヘイト団体「そよ風」が今年も、9月1日、朝鮮人犠牲者追悼式典と同時刻に、30メートルほど離れた「大正大震災火災石原町遭難者碑」の前で、「先祖の濡れ衣を晴らす」などと掲げて、多くの市民の反対の声にもかかわらずヘイトスピーチを繰り返す集会を実行した。その目的は、朝鮮人犠牲者追悼式典を潰し、「関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑」を撤去させることだと公言している。

(4) 関東大震災100年前日の8月31日、NHK「クローズアップ現代」が「特集番組：一段と深刻さ増すフェイクニュースの害悪…「100年前の悲劇」を忘れるべきでない理由」を放送

タイトルは「関東大震災100年、私たちの不安がフェイクを広げる」。100年前の関東大震災発生直後、「朝鮮人が井戸に毒を入れた」という根拠のないわさを信じた民衆や警察によって韓半島出身の住民らが無残に殺害されたが、命と直結する事態にまで発展する危険がある流言飛語は最近起きた災害でもしばしば広がっているという内容だった。関東大震災100年の今年、日本の各メディアは、関東大震災当時起きた朝鮮人虐殺事件について例年よりも高い比重で報じた。このところデジタル技術をベースに発達しているソーシャルメディアやAI（人工知能）などが、

フェイクニュースをますます危険なものにしていることを警告する記事が多かった。朝日新聞は9月1日、「当時『朝鮮人が井戸に毒を入れた』などの根拠なき情報があふれ、実際に大勢の朝鮮人が殺害された」として、流言飛語が虐殺という大きな悲劇にまで至る過程を分析した記事を伝えた。100周年ということもあり、TBS『報道特集』、テレビ朝日『ニュースステーション』などでも特集番組や調査報道が行われたことは特筆に値する出来事だった。

(5) 劇映画『福田村事件』（森達也監督）の劇場公開

森達也監督の映画「福田村事件」が9月1日に劇場公開された。NHK「クローズアップ現代」（8月30日）や民放の報道番組などでも取り上げて話題になっている。「福田村事件」とは、関東大震災5日後の1923年9月6日、千葉県東葛飾郡福田村（現・野田市）で、香川県三豊郡（現・観音寺市および三豊市）から来た薬売り行商団15人が朝鮮人と見なされ、幼児や妊婦を含む10人（お腹の子を含め）が、在郷軍人などの自警団などによって惨殺された事件である。薬売り行商団は、香川の被差別部落出身の人たちであり、地元では、差別を恐れて、生き残った人も含めてほとんど語られてこなかった。

森達也監督は、「このごろ『朝鮮人虐殺はなかった』と本気で信じる日本人が増えている。果ては『当時、朝鮮人が本当に井戸に毒を入れた』と信じる日本人もいる。

小池百合子都知事は朝鮮人犠牲者追悼式典に追悼文を送らなかった。南京大虐殺も、従軍慰安婦もなかったと。その理由は、善良な日本人がそういうことをするはずがない、というようなものだ」、「以前、オウム真理教の殺人事件を取り上げたドキュメンタリー映画を作った。オウム真理教の信者らが温和で善良だと分かり、衝撃を受けた。福田村事件も同様だ。平凡な人が残酷なことをするとき、

『集団』が一つのキーワードだ。集団に埋没するとき、暴走する。それが虐殺であり戦争だと思ふ」と語っている。劇映画『福田村事件』は、森監督が「キーワード」という「集団心理」の危険性がよく描かれている。単に流言飛語の問題にせず、「韓国併合」（1910年）、「三・一独立運動弾圧」（1919年）などの背景にも触れている。森監督が「朝鮮人と誤って日本人が殺された事件」ととらえられるのには強い違和感を覚える」とし、惨殺される直前に行商団のリーダーが村人らに訴えた言葉に「全ての思いを込めた」という言葉。「鮮人ならええんか。朝鮮人なら殺してもええんか」がなかったら、森監督の意図に反して、誤解を与える危険性があった。虐殺された行商団は、被差別部落の人々だった。福田村事件の底流には、朝鮮人差別と部落差別の二重の差別があった。事件が埋もれたのも、「被害者が被差別部落出身で声を上げられなかった」ことが大きな理由の1つだと思

われる。NHK「クローズアップ現代」ではそのことは一言も触れられなかった。森監督は、「水平社宣言」（1922年）も含め丁寧に描いていた。森監督は、新聞の取材に対して、「社会派と銘打つが、娯楽作品として見てほしい」というが、あえてそれを強調するのはなぜか。劇映画に登場する女性たちの描き方も「男性目線」を感じざるを得なかった。エンドロールの字幕に、「福田村事件では、自警団員7人に有罪判決が下されたものの、大正天皇死去・昭和天皇即位による恩赦で釈放された」とあった。天皇制国家の朝鮮侵略・植民地支配の延長線上で起きた虐殺事件の加害者らが、大正天皇死去（昭和天皇即位）の「恩赦」で釈放されたことは、「福田村事件」の本質を象徴するものである。関東大地震、朝鮮人・中国人大虐殺から100年。その歴史的意味を考えながら、いま現在の日本社会の状況に想像をめぐらした。

訃報 大西豊（笹島日雇労働組合委員長）逝去



<中日新聞デジタル>

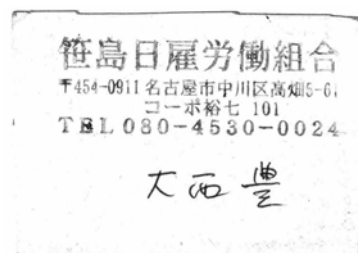
アパート火災 男性一人死亡 名古屋

未明の中川区でアパート火災、1人死亡 住人の80歳男性が
2024年4月2日 09時10分 (4月2日 11時58分更新)

2日午前2時50分ごろ、名古屋市中川区高畑5の軽量鉄骨2階建てアパート1階の職業不詳、上倉誠さん（80）の居室から出火し、上倉さん方と、真上の部屋の計2部屋を焼いた。上倉さん方から男性1人が病院に搬送され、間もなく死亡が確認された。

上倉誠（大西豊）日本の「四大寄せ場」の一つといわれる「笹島」で、日雇い労働者組織化＝笹島日雇労働組合の委員長として長きにわたりその中心を担ってきた。さらにホームレスや外国人労働者を支援する活動の中心にいて、常に現場での実力行動を本分としていた。

私の店や、友人たちの集まりの場で「自分は100歳まで活動するのだ」と言っていました、それが大げさではないと思わせる活力溢れる人でした。まさかこのような形で逝ってしまうとは思ひも寄らず、無念なことと察するのみです。また一緒に呑みたかった（楽人）



『親権』という言葉の魔法

たかだ洋子

岸田政権は、3月8日「共同親権」を閣議決定した。今国会で議論されているが、国会前では、この法改正がもたらす恐ろしい結果を危惧する人々が集まって「反対！」の声をあげている。民法は、個人の生活に大変身近な法律なのに、問題が起きるには各々のケースに個人的要素が多くて、問題なく過ごす人々には何が問題なのか全く想像できない。

私には、シングルマザーを支援している友達が岐阜にいる。オーストラリアでは「離婚後に両親が子育ての責任をシェアすることが当然であるとの前提には立たない」との法改正を昨年行ったことが知られている。友人は、私が3月にAUとNZを訪問すると聞いて、私に、事情を調べてきて欲しいと、述べた。

AUで1人、NZでも2人の研究者に聞き取りしてきた。一番びっくりだったのは、NZのジェフリー・パーマー氏（とても高名な方）のリアクションだった。日本では離婚後しっかり養育費を支払っている元夫は少ないし、金額も小さいという実情を話したときに「そうだとすると離婚後の女性は子供を抱えて貧乏になってしまう」と言われるので「はい、シングルマザーは貧乏です」と答えたら、「えー？そんなことなの？」と驚かれたのです。その驚き様には、こっちもびっくり。ああ、日本は遅れている、と感じた。

何が遅れているかというところ、「親権」という言葉とその概念のことだと改めてわかった。彼らは親権という言葉を手放している。「子の監護」という言葉さえ、「子供の日々の生活の世話」という言葉に変えている。さらに、離婚後の共同親権については「子育てする親の責任をシェアする」という言葉であ

って「親権」つまり「親の権利」という概念をすっかり捨てる努力だ。オーストラリアで現在、一番議論されているのは「子供にとって何がいちばんの利益か」という視点を維持する、そのための努力だ。個々のケースで弁護士や裁判所は「子供の最善の利益」を中心に据えて仲裁し、議論し、決定しようとしている。

振り返って今、日本では「共同親権を法制化」しようとしている。現在の制度のもとでも、離婚後一緒に住まない親も手続きを踏めばいつでも子供に会えるし、支払う意思があれば養育費を払っている人たちもいる。だから、問題の起きていないケースから見れば法改正は不要なのだ。法改正を求める人たちは「子供に会えない」と声を高く主張するが、もしかしたら妻たちが「逃げている」ので会う手続きができないだけだろう。

DVのケースが云々されるが、AUやNZの法律家の口に出た言葉は、coerciveつまり、威圧的な態度についてだった。身体に怪我を負わせるのではないが、家族と過ごす日常で配偶者や子供に対して「威圧的」であること、これを彼らは「暴力」として認識している。

夫や父に怯えて暮らす、離婚後もその配偶者が「親の権利」を振りかざして、もと家族を支配下に置こうとする。それを暴力と認識できず、彼らの欲望を、法的に可能にしてあげるのが、日本の現在地、岸田政権の法改正なのだ。

ユニオンと連帯する市民の会 第17回 総会を開催しました

「ユニオンと連帯する市民の会」第17回総会議案(2024.3.29総会で決定)

2024年3月29日 市民活動推進センター集会室において開催しました。

◆「ユニオンと連帯する市民の会」第17回総会は、15名の参加により、議長に小野政美を選出し、以下の議案を審議し賛成多数で決定しました。

1号議案 活動総括

1. 「ユニオン学校」

第1期はユニオン学校を7回開催しました。参加者数は20人～30人で、テーマは大正期の社会批判の歌、連合の現状、治安維持法科の労働運動、福祉国家スウェーデン、中部電力過労死裁判とワークショップ、日進市における女性議員の進出、汚染水問題など多様な内容で開催することができました。またユニオン学校は今期7月で100回目を迎えました。前期よりユニオン学校の動画がユーチューブでも見れるようになり、より多くの人々に見てもらえるようにもなりました。ユニオン学校は7月の第100回目をもって、それまで、1月に1回開催でしたが、2カ月に1回に変更し、より準備に時間をかけてさらに内容の充実したユニオン学校の開催を行っていきます。

2. 「ユニオンと連帯する市民の会」雑誌『結』

「市民の会」が編集・発行するユニオン雑誌「結」は32号～35号まで4回発行することが出来ました。会員一人一人が活動報告や職場で起こった事、研究や政治の問題など出し合い、執筆し編集作業を行って印刷・発送作業を行いました。ユニオン学校の報告も「結」の紙面を使って伝えることが出来ました。会員以外の方にも執筆をお願いしテーマは多岐にわたって充実した内容になりました。現在の発行部数は200部で購読者数は150部くらいです。愛知県図書館にも「結」を置いています。また「結」は運営委員の方が主催する「だらっと憲法カフェ」のホームページで配信されるようになりウェブサイトから読めます。「結」は地域の労働運動と市民を結ぶユニオン雑誌としてさらに充実した内容をめざします。

3. さまざまな社会運動に参加

「ユニオンと連帯する市民の会」は、愛知県におけるさまざまな社会運動に参加しました。17期冒頭は昨年亡くなられたユニオン三重の前委員長の広岡法浄さん一周忌の偲ぶ会に「市民の会」から多くが参加し、長年市民の会を応援してくれた広岡さんに感謝の気持ちとお礼を込めて偲びました。

あいち総がかり行動ではユニオン学校への参加を呼びかけるビラをまき、共に憲法改悪、増税、戦争に反対する闘いに取り組みました。フィリピントヨタ労働組合との連帯は20年以上に及ぶ国際連帯であり、今期も共に取り組みました。来日した韓国デンソーの労働者と連帯し共に刈谷市で闘いました。東海地域と全国のコミュニティユニオン交流集会に市民の会から参加しました。また10月7日以降のイスラエルによるパレスチナガザ地区への軍事攻撃と民衆虐殺・ジェノサイドに抗議する毎週日曜日の集会とデモ行進、アメリカ総領事館への街宣にも参加し、年末年始に

は笹島越冬活動にも参加しました。

2号議案会計報告※略

3号議案 情勢

2021年10月7日以来、イスラエル軍によるガザへのジェノサイドがおこなわれています。イスラエルは建国以来、パレスチナ人の追放と入植という名の軍隊を使った占領、家、農地、水、土地の強奪、パレスチナ人への暴力、逮捕、虐殺、ジェノサイドをくりかえしてきました。イスラエル軍による無差別攻撃で3万人以上のガザの市民が犠牲になりました。その大半は女性や子どもです。

またロシア・ウクライナ戦争は2年がたちましたが終わる気配をみせません。世界中と日本全国で反戦デモが巻き起こっています。沖縄、辺野古での新基地建設の強行、琉球弧の島々にはすでに自衛隊基地が配備され、戦争する国へと変貌しようとしています。自民党岸田政権の増税、維新の会の大阪万博建設費用の大阪府民、全国民からの徴収は労働者の生活を直撃し、ますます生活が厳しくなろうとしています。気候変動、地球温暖化もますますひどくなっています。

労働者の貧困と格差は是正されることなく今も続いています。アンダークラスと呼ばれる新たな下層階級の出現と現実には貧困が一段階、ひどくなったことを証明しています。一方、労働運動の側からは昨年、東京で非正規春闘が闘われ賃金の引き上げなど成果を上げています。

学生運動も無党派の学生による学生メーデーなどのイベントや学問の自由、立て看板やビラまきなどの大学内における表現の自由を求めて集会や討論会を行い、今年のメーデーの準備も始まっています。

地域の労働運動では、非正規労働者の雇用や労働条件、職場内の人権問題、無権利な外国人労働者の権利の拡大など、この地域でユニオンが取り組むべき課題はたくさんあります。しかしそれを担うユニオンは数が少ない上にそれぞれの規模が小さく、担い手も足りません。コミュニティユニオン東海ネットワークはそうしたユニオンの連絡機関として一定の役割を果たしており、市民の会もネットワークのメンバーとしてその活動を支えています。

1月1日の能登半島地震以降、現地の復興は非常に遅く、避難した人々は困難な状況におかれたままです。名古屋入管でおきたウイシュマさん死亡事件の真相を明らかにするための闘いでは多くの学生や市民が参加しました。

4号議案 方針

1. ユニオン=労働組合運動、労働運動との交流と連帯「ユニオンと連帯する市民の会」の目的は労働運動と市民の交流と連帯をめざし、労働組合運動、労働運動をサポートし、労働者の権利と生活を守るために共に闘うことにあります。かつては「ユニオン共同行動」を月1回、開催していましたが今だに再開できない状態ですが再開をめざします。各労働組合の裁判や労働委員会への傍聴に参加することも重要です。各会員が積極的に参加できるよう情報を共有し広げます。「コミュニティユニオン東海ネットワーク」、同「全国ネットワーク」との連帯、交流、情報共有を深め、連携した闘いを進めます。そして各ユニオンの争議支援や最低賃金引上げの闘い、女性労働者との連帯と学び、青年学生など若者との交流を進めていきます。

さらにパレスチナ連帯、ロシア・ウクライナ戦争反対、憲法改悪反対、反安保沖縄連帯、反差別など戦争に反対し平和を守る闘いに積極的に参加します。

2. 「ユニオン学校」と「ユニオン懇談会」

ユニオン学校の開催は、それまで月1回のペースで行っていましたが2カ月に1回の開催で行うことになりました。より充実したユニオン学校を開催するため準備にしっかり時間をかけテーマも絞り、ユニオン運動の魅力を発信し、多くの労働者がユニオンに参加したくなるようなユニオン学校をめざします。テーマはユニオンだけではなく反戦、護憲、環境問題、貧困問題にも取り組んでいきます。またユニオン学校のない月には様々なテーマで話し合う「ユニオン懇談会」を企画し開催します。

3. ユニオン雑誌「結」の発行

「結」の編集・発行を今まで以上に豊かな内容にして労働者市民の共同の雑誌として作っていきます。名古屋地域を中心に、東海地方から全国、国際的な視野も広げながら、労働現場の現状、ユニオンの闘いを紹介し、ユニオン運動と市民のつながりを構築するような「結」をめざしていきます。

4. さまざまな社会運動、市民運動に参加、連帯し、活動の幅をひろげていきます。

5. 「コミュニティユニオン東海ネットワーク」の運動に参加し、全国のユニオンと連帯する活動をおこないます。

6. ユニオンと連帯する市民の会」の財政と「ユニオン学校運営委員会」の財政を統合し、ユニオンと連帯する市民の会の財政活動を活発にします。

第5号議案 第17期役員案

相談役

猿田正機 中谷雄二 古木民夫 近森泰彦

運営委員

代表：木村直樹

副代表：柿山朗

事務局長：松本朗

事務局次長・「結」編集長兼任：大場一哉

ユニオン学校校長：たかだ洋子

運営委員：竹久憲一郎 中村一三 小野政美 浅野文秀

後藤陽司 吉田典子 尾形けいこ 桜井善行

会計・会員管理：牧野三枝子

会計監査：小林収

記録録画のURL

第17回総会 <https://youtu.be/rQjXRmVxo9A>

ユニオン懇談会 <https://youtu.be/7KfV2xQqBJ8>

愛知県労働委員会の 再生をめざす学習会

第1回

「労働組合への加入は自己責任」。採用されたばかりの職員に、こんな言葉が掲載された文書を使用者が配布する不当労働行為が行われました。さらに驚くのはこの文書作成に、愛知県労働委員会の公労使委員と事務局が関わっていたことでした。不当労働行為に苦しむ労働者・労働組合を救済すべき労働委員会が不当労働に関与する前代未聞の事態です。この他にも労働委員会としての役割を果たさない異常な判断が相次いでいます。

労働者の権利をまもるため、愛労委の再生は待ったなし。労働委員会とは何なのか、その役割について学びます。



5月25日(土) 13:30~16:30

労働会館本第4・5会議室

住所：名古屋市熱田区作沢下町9-3 交通：金山総合駅から徒歩10分



オンライン参加 (zoom)

ミーティング ID: 859 1625 4979 パスコード: 376204

※資料は zoom のチャット機能で配信します。

労働委員会とは何か

～労働委員会公益委員の経験から～ (仮称)

講師 石田 眞 さん

早稲田大学名誉教授
元埼玉県労働委員会公益委員・会長

労働者委員の果たすべき役割は何か (仮称)

～労働者に寄りそい役割を果たしてもらうために～

講師 森 治美 さん

東京都労働委員会労働者委員
全労連・全国一般労働組合東京地本副執行委員長

共催 東海労働弁護団・自由法曹団愛知支部・愛労連
コミュニティユニオン東海ネットワーク

(事務局:愛労連) ☎456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館3階
☎052-871-5433 FAX052-871-5618

名古屋ふれあいユニオン 第26回定期大会を開催しました



4月14日、名古屋ふれあいユニオン第26回定期大会を刈谷市産業振興センターで開催しました。大会は、予定していた議案を承認採択し、新たな運営委員会を選出して、26年目に入ったユニオン活動を皆の協力で進めていくことを確認しました。

大会では、コミュニティ・ユニオン全国ネットワークの川本事務局長、顧問弁護士事務所の郭弁護士からご挨拶をいただきました。またコロナ以降控えてきた大会後の懇親会を行い交流を深めました。

結成時28名だった組合員は現在400名を超え、愛知県下で活躍するユニオンの中心を担うようになりましたが、非正規労働者や中小企業で働く労働者の厳しい労働環境や権利の侵害など取り組む課題は多く、活動の質量ともにより高めていく必要があります。

結成当初は「労働相談を受けて解決する」ことが中心の「解決型」の活動が中心でしたが、職場組織も増え、持続的に労働条件の改善を図っていくことが求められることから、職場活動の重視と労働法制の改善に向けた活動を強化するようになってきました。特に2020年代に入り、人事面でも世代交代を行い、新しいユニオンの形を、全国の活動にも学びながら進めています。

一方、財政面や人材の育成、自立した職場活動の推進など課題も山積です。そうした現状をふまえ、今年度の方針を以下のとおりとしました。

1. 財政の安定化を目指すとともに、組織体制の確立・担い手の育成に全力で取り組もう。
2. 組合員の主体的な活動参加で、学習、相互交流、相互支援を強化しよう。
3. 職場に根を張り、地域・社会とつながる組合活動をめざそう。

以上の方針をもとに、新たに選出された運営委員を中心に、組合員の主体的な活動を盛り上げて、よりゆたかなユニオン活動を進めていきたいと思えます。



(名古屋ふれあいユニオン 運営委員 浅野文秀)

2024年春闘から見えるこの国の姿

柿山 朗



大企業・正社員の春闘

4月27日代々木公園で開かれた「連合」の大会で岸田首相は「今年は物価上昇を上回る所得を必ず実現する。来年以降は物価上昇を上回る賃上げを実現する」と述べた。連合芳野会長「昨年は高水準の結果を出したが、それ以上に物価が上回った。2024年は5%を最低水準としている」と言う。経団連十倉会長は「23年以上の熱量と決意をもって物価上昇に負けない賃金引上げを目指すことが経団連・企業の社会的責務である」と強調した。3者は異口同音であり「官製春闘」といわれる所以である。海外移転が進む大企業ではほとんどが満額回答。日本製鉄以下、組合要求以上の回答を示す企業すら相次ぐ。連合の第3回集計では、正社員の定期昇給を含む賃上げ率は平均5.24%と、現状は大きく目標を満たしている。

中小企業と非正規の春闘

中小企業といえど賃上げが5%をはるかに上回る会社から2~3%に満たない企業まで千差万別である。愛知ではトヨタ及び傘下の企業で不祥事が続出。日野の燃費不正、ダイハツや豊田自動織機での認証不正等々である。多重下請け構造の下流には、賃上げどころか不正に対してモノを言えない多くの企業群と労働者が存在する。非正規とは「パート」「アルバイト」「派遣・契約社員」その他を指すが労働者の約4割を占める。社員と同じように働いても多くは「同一労働同一賃金」ではなく春闘の外に置かれている。政財界は中小企業の労働者の賃上げの原資を取引価格への転嫁で賄うと言うが、実際には春闘では素知らぬ顔である。下請けと

非正規の労働者に共通するのは投げかけられる「自己責任」という言葉と「悔しさ」であろう。

非正規春闘実行委結成とストライキの決行

「非正規労働者らを多く組織する個人加盟が中心の労働組合が24年の春闘へ向けた共闘組織「非正規春闘実行委員会」を設立した。物価高による生活苦が社会に広がる中、一律10%以上の賃上げを方針に掲げた。実行委は「一人でも賃上げを求め声を上げることができる。一緒に賃金を上げよう」と呼びかけた。全国一般東京ゼネラルユニオン、首都圏青年ユニオン等で実行委を結成。全国各地から20労組が参加する。この春闘では「一律10%以上の賃上げ、正規と非正規の均等待遇、全国最賃1,500円の即時実現一を要求する」(12月4日、毎日新聞より抜粋)飲食、小売り、講師業など23労組が120社を相手に交渉し、3月13日には、スシロー、シェーン英会話、ABCマートなど5社でストライキを行なった。より真つ当な労働運動の萌芽である。

進む社会の分断をストライキで阻む

「昨年、全米自動車労組(UAW)はストライキの結果、4年半で25%の賃上げを獲得した。又、物価上昇に応じて賃金を引き上げる制度の復活も引き出した。UAWへの支持は米国民の75%で会社側支持は19%に過ぎない。巨額報酬を受け取る経営者と労働者の格差への不満があるからだ。米国ではハリウッドの映画製作労組、教職員組合等々のストライキが相次ぐ。バイデンは「最も労組寄りの大統領」を自負し、トランプも労組を支持する」。(2月19日朝日新聞、要約)静かな春闘の結果、この国で進むのは大企業を中心とした富裕層と中小・非正規労働者からなる貧困層の2極化という分断である。希望は非正規春闘のストライキである。「悔しさ」を胸に職場で「仲間」を増やしてほしい。より拡がる2025春闘を待ちたい。(終わり)

反イスラエル



米カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)で1日未明、親イスラエル派の覆面集団がパレスチナ支持の学生らに暴力をふるった。

アメリカ学生の闘い

真夜中の大学構内で、ある集団が別の集団に襲い掛かりました。掲げている旗に書かれていたのは、ヘブライ語で「救世主（メシア）」を意味する言葉。つまり、親イスラエル派です。襲われているのは、イスラエルへの抗議としてテントで座り込みを続けている学生たちです。

テントによる抗議活動が始まって1週間が経とうとしていたタイミング。それに対し、親イスラ

エル側が力による排除を試みたとみられています。現地メディアによると、衝突の数時間前に大学側が「構内の座り込みは違法」だという声明を発したといます。これが引き金になった可能性があります。イスラエルをめぐる若者たちの分断が、想像以上の速さで進行しているのかもしれない。

ただ、もともと彼らの怒りの矛先は国ではなく、大学側に向いていることは、あまり知られていません。アメリカの大学は、大企業からの多額の寄付金と、その運用で得る利益で成り立っていますが、そこにはイスラエルの軍需産業と関わりの深い企業も多くあります。

学生たちの根底にあるのは「こうした企業の金で学んでいたら、戦争に加担しているのと同じだ」という当事者意識です。

(C) CABLE NEWS NETWORK 2024

メーデーに思う

4月28日に京都総評を守りをぬいた功労者の一人稲村守さんの『石の上にも半生紀～総評オルグ50年～』の出版記念会が大勢の仲間が集まって開かれた。会場はラポール京都（京都労働者総合会館）で、5月1日の統一メーデーを呼びかけるポスターが貼られていて、ここには京都総評も連合京都も事務所を置いている。新社会党岡崎委員長、共産党倉林副委員長も来賓で関生のメンバーも5人参加した。



5月1日、愛知は白川公園で約1500人集まった。京都と違って分裂メーデーである。

1886年、シカゴなどで8時間労働を求めたのがメーデーの最初。日本では1920年5月2日上野公園で5千人以上集まって開催され、名古屋では1923年、鶴舞公園で「全名古屋の労働者諸君、組合を作って団結せよ」と訴えた。1927年、セメント労組三河支部が田原町で開催したが、1936年、メーデーは禁止された。戦後は1946年鶴舞公園に4万人が集まり、雨の中「メーデー労働祭」の横断幕を掲げて栄を行進した。（木村直樹）

多様な性を受け入れてもジェンダー平等はやってこないと思う訳

たかだ洋子

トランス男性とトランス女性は、おそらく苦しみが違う。X（旧Twitter）で2人のトランス男性が心のうちを、顔出しで、自分の経験を述べていた。そして、私は心を動かされた。二つのケースは似ているので、1人の日本人の発信をここに紹介したい。

その人は、女子として子供時代から思春期を生きていた。自分は普通の女子とは違うという違和感を持っていた。自分は社会の普通の女ではないと感じた。そして、女ではないなら、男だろうと思った。病院で、性同一性障害の病名をもらってホルモン治療を始めた。きっぱり早いほうがいいと思って、乳房の切除も受けた。外見もとても男らしくなって、戸籍も男性にして、男性として社会に出た。そして、人生を男として出発した。ところが、いざ男として生活してみると、自分は男ではないと気がついて苦しむようになった。特に辛いのは、男たちの「男の会話」に一緒に加わるができなかったことだった。

このトランス男性は、現在、自分の性同一性障害は誤診であったと、それを認めさせて元にもどるつもりだと語っている。男として生きることができないとわかったのだ。その人は書いている。「多くの自分の人生の時間を無駄にってしまった」と。

このような後悔を語るのは、トランス男性だ。世の中でアピールするコンテンツの女たちは「セクシーで可愛い」を競っているから、比べて自分は、そんな女たちとは全く違う。本当はやはり自分は男だったのかと迷う心情は、実は理解できる。しかし男たちの輪

の中には入れない。そして「それを苦しいと感じる」との訴えは、新鮮な驚きだった。

米国での事例、トランスして男になったつもりの10代が、あるとき罪を犯して男の子の施設に入れられてそこで性被害を受けてボロボロになった事例が米国で紹介されている。その子は法的にあくまでも男子として取り扱われていたので、被害はどこかの施設に移されても繰り返し継続したそうだ。男たちの部屋に入れられた身体女性の身の上の悲惨は、想像できる。

トランス女性は、どうだろう。トランス女性は、「女たちの会話の中に入れなくて苦しい」と感じているだろうか。私の知っているトランス女性は、女よりも女らしい女みたいに、ハイヒールで堂々と風を切って歩いている。その人は昔男で結婚し子供もいたが中年になってから家族と別れてトランス女性になったので、自分を「女」と認めさせる戦闘モードだろう。後悔があるとすると、やはり、思春期の子供時代に身体改造をした人たちだろう。

トランス女性が、女たちから性的被害を受けたことは報告されていない。ジェンダーの勾配は、身体性で生じている。何万年も続いてきた人類の性（さが）を思想でどうにかできることではないのだ。

※ 告知欄 ※

金権腐敗の裏金議員に未来を託せないー私たちが政治を変える！

日時：5/19 14:00～

場所：若宮大通公園スポーツ広場

第104回ユニオン学校

日時：5/30 18:30～

場所：市民活動推進センター

浜矩子が斬る！ 「政治と経済2024」 今政権交代の時！

日時：6/2 14:00～

場所：本山 生協会館

とめよう！原発依存社会への暴走大集会

日時：6/9 13:00～

場所：大阪・うつぼ公園

ユニオン懇談会

日時：6/26 18:30～

場所：市民活動推進センター

編集後記

いやあ、今回も編集作業が遅れに遅れ、とうとう発行日が大幅に後ろへずれるという事態になってしまった。情けない。いや、ここしばらく体調不良で、風邪をこじらせたのか、はたまた酒の飲み過ぎか（笑）居酒屋親父には困ったもんだわ。すぐに他所の居酒屋へ行きたがるのがいかんわ！で、居酒屋の話でこんな本を貸してもらいました。「パブと労働組合（新日本出版社）」著者はイギリス史家の浜林正夫氏。曰く「イギリスの労働組合はパブ生まれというのは有名な話ですが、どうしてなのかと突っ込んだ人は日本にはいないんですよ」パブはもとは「パブリック（公の）ハウス」と呼ばれいろんな行事も行なわれる社交場であり、情報が集まるので職業紹介所でもあったという。イギリスの労働組合は職業別であり、企業の外に生まれた。それで、労働者が集まる場所はパブしか無かったので、組合事務所もパブに置かれた（会議には飲み代がかさんで困った！）という。う～む、いいのかそれで？また、「共産党宣言」もパブで生まれたと言うから凄いぞ、イギリスのパブ。こういう場所を私たちも作る事が出来ればいいね。なんとか、みんなで力を合わせて出来ないだろうか？こういう時こそ「労働者協同組合」を設立し、パブ（居酒屋）運営するのはどうでしょう。どうですか？あなたもそんな気になってきませんか（楽人）

■□ 事務局連絡先 □■

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-3

労働会館本館306号 健康センター内

Tel&(fax)：052-883-6966(6983)

メール：sfl7wtkq@tg.commuja.jp

ユニオンと連帯する市民の会

お願い！ 原稿、感想、情報、意見をお寄せ下さい。

1部100円

**本年度の会費・カンパ
の振込をお願いします**

振込先

郵便振込

口座番号：00820-7-169123